



いのち

生命のにぎわい調査団

生命のにぎわい通信

第11号 : 発行 平成22年(2010年)2月 春

発行：千葉県環境生活部自然保護課
生物多様性戦略推進室
生物多様性センター
〒260-0852 千葉市中央区青葉町955-2
(千葉県立中央博物館内)
TEL 043-265-3601 FAX 043-265-3615
URL <http://www.bdcchiba.jp/monitor/>
E-mail monitor@bdcchiba.jp

野鳥の撮影をする前に

桑原和之(千葉県立中央博物館)

春から夏にかけて、野外に出かけ自然を観察することが多いと思います。自然の写真の愛好家も次第に多くなり、デジタルカメラの登場、普及とともに簡単に野鳥の写真が撮影できるようになりました。綺麗な野鳥の写真を撮ることは、とっても楽しく、夢中になってしまいます。しかし、この撮影について少し考えてみましょう。

千葉県内の野鳥調査や記録を残すためには、それほど綺麗に写された写真が重要ではありません。それより、科学的な証拠となるポイントが写っている方が重要です。私の場合、「鳴き声や囀りを録音できなかった」と悔やまれることは時々ありますが「野鳥の姿を撮影し、記録として残したい」と思うことは、10年に1回あるかないかです。

これからの季節、春から夏は、千葉県でみられる野鳥たちの繁殖期です。私は繁殖場所で調査をするときは、なるべく短時間で終わらせるように心がけています。繁殖を邪魔してしまう可能性があるからです。(桑原2004)。

野鳥たちの生活を攪乱するような撮影や調査をしていないでしょうか?野鳥の写真をとる前に、彼らの立場に立って考えてみるというのも重要なことだと思います。

【引用文献】

桑原和之.2004.野鳥調査一解説.

やってみよう!環境教育 みんなでつくる川の環境目標:97.

保護され無事自然に戻ったヤマドリ(右図)
勝浦市吉尾 2009. 12. 8 (撮影) 村田明久



○ユキホオジロが千葉県にやって来た!!

1月20日にユキホオジロが千葉県で27年ぶりに観察されました(県内の第一発見者は団員a0285さん)北極圏から北海道へ渡る際に、希少な冬鳥が、迷って千葉県の九十九里海岸まで南下してきたのでしょうか。

関東で観察されることが極めて希少な鳥であるため、発見現場は1月末から連日カメラマンで大賑わいです。a0285さんも個人のブログで観察者へ呼びかけている様に、海岸のゴミをカメラマン一人一人が持ち帰るなどの、撮影する他にも生息地/環境への心づかいがほしいですね。

○生物多様性に関する最新情報は、調査団のホームページで!

「調査団」<http://www.bdcchiba.jp/monitor/index.html>と「生物多様性センター」<http://www.bdcchiba.jp/>のホームページは、随時、更新していますので、ぜひご覧ください。最新の生物多様性に関する情報、各種講習会等の最新情報が盛り沢山です。

